

# 「陽熱プラス」で 宮崎方式太陽熱土壤消毒の効果パワーアップ

## 宮崎方式太陽熱土壤消毒の特徴

ほとんどの土  
壤病原菌や土  
壤害虫を死滅  
させます。

施肥、畝たて  
を事前に行う  
ので定植の時  
期に余裕がで  
きます。

消毒後に土を  
動かさないの  
で効果が確定  
です。

農薬を使用せ  
ず、肥料費も  
低減でき、環  
境にやさしい  
消毒法です。



## 陽熱プラスの特徴

太陽熱消毒効  
果が安定しま  
す。

基肥を焼酎粕  
濃縮液で代替  
でき、肥料費  
の低減になり  
ます

## 宮崎方式太陽熱土壤消毒の手順

6月	上旬	後片付け 耕うん 残肥の測定
	中旬	
7月	下旬	基肥施用 散水 畝たて
	上旬	陽熱プラス
8月	中旬	消毒期間は 一ヶ月以上！
	下旬	
9月	上旬	ハウスビニル張り替え
	中旬	
	下旬	マルチ除去 良質なたい肥の少量散布 定植

- ECの測定を行います
- その値を20倍するとおおよその残存している窒素の量になります
- 施肥基準から②の残存量と焼酎粕濃縮液中に入っている窒素分を差し引いて窒素施用量を決めます

### 陽熱プラス



「焼酎粕濃縮液」を動噴等を使って、畝の中央にまきます  
量は1t/10a



かん水チューブを使って、9t/10aの水を散布し、「焼酎粕濃縮液」を薄めます(10倍希釈)



後は、いつもどおり、マルチを行い、ハウスを密閉して、太陽熱消毒に入ります



太陽熱消毒

外気温30℃以上  
が10日以上維持  
することが必要

### 焼酎粕濃縮液とは？



焼酎生産で排出された蒸留廃液の、液体部分を低温濃縮したもの

窒素	リン酸	カリ	カルシウム	マグネシウム
2.1	0.6	0.4	0.04	0.1

焼酎粕濃縮液の肥料成分(%)

- ビニルを張り替える時もマルチはそのままです
- 消毒後は土を動かしてはいけません

消毒後は硝酸化成菌などの有用な菌も少なくなっています。  
良質なたい肥などを少量散布することで硝酸化成菌の速やかな回復をはかれます。

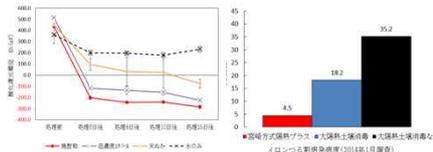
### 基肥の計算例

- 残肥の計算  
・EC測定値=0.3mS  
・20倍します  
 $0.3\text{mS} \times 20 = 6\text{kg}$
- 焼酎粕濃縮液中の窒素量  
 $1000\text{kg} \times 2\% \times 70\% (\text{肥効率}) = 14\text{kg}$
- 施肥基準の基肥窒素量が25kgであれば  
 $25\text{kg} - 6\text{kg} - 14\text{kg} = 5\text{kg}$

※リン酸、カリについては土壤診断結果を参考に基肥を選定します

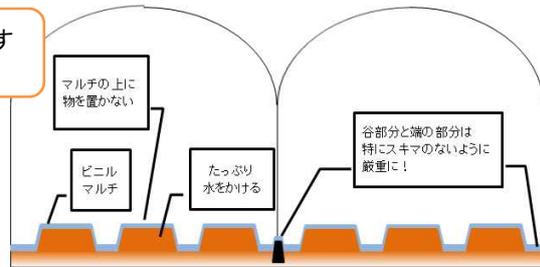
### なぜ効果が安定する？

- 還元消毒効果
- 土壤中の微生物環境を改善



### 焼酎粕濃縮液使用の留意点

- 焼酎粕濃縮液は、窒素が2%程度含まれており、基肥を減らす必要があります。土壤診断を行って、適正な施肥量になるようにしましょう。
- 有機質肥料が無機化しやすく、初期から肥料が効いてきます。作物に応じた基肥量を設定しましょう。



連棟ハウスの密閉略図

## 留意点

- ・大雨・台風時は、水が浸入しないようにする
- ・電子機器やプラスチック製品等高温に弱い機材は事前にハウス外に持ち出しておく
- ・土壤伝染性ウイルス及び青枯病に対しては効果が劣るので、接ぎ木などと組み合わせる
- ・外ビニルを除去する場合、マルチがはげないように土のう袋等で押さえる

(詳しいことは、普及指導員、またはJAの営農指導員に相談してください)

(問い合わせ先: 宮崎県農業経営支援課専門技術指導担当野菜担当(果菜類)、宮崎県総合農業試験場野菜部)